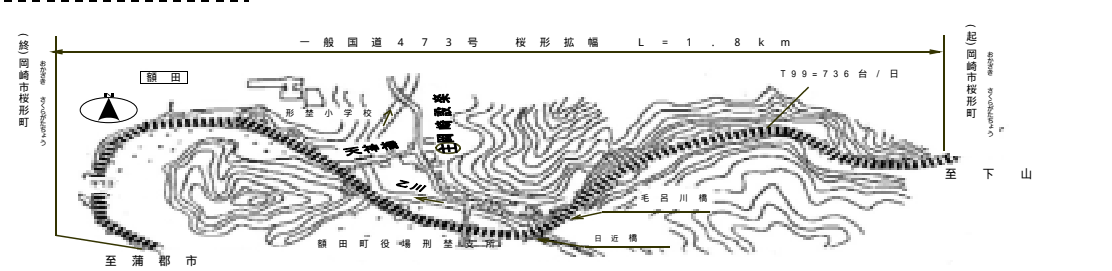


## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：鈴木克宗

事業名：一般国道473号桜形 <sup>さくらがた</sup> 拡幅		事業区分：一般国道	事業主体：愛知県
起終点：自：愛知県岡崎市桜形町 至：愛知県岡崎市桜形町		延長：1.8 km	
事業概要：一般国道473号は、愛知県蒲郡市を起点とし、静岡県榛原郡相良町に至る延長約143 kmの幹線道路である。桜形拡幅は、幅員狭小、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした、延長1.8 kmの2車線道路である。			
H 8年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H 11年度用地着手	H 12年度工事着手
全体事業費	20 億円	事業進捗率	80%
供用済延長	0.1 km		
計画交通量	1,198台/日		
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 1.4  (残事業) 4.8	総費用： (残事業)/(事業全体) 5 / 18 億円  (事業費：4 / 17億円) (維持管理費：2 / 2 億円)	総便益： (残事業)/(事業全体) 26 / 26 億円  (走行時間短縮便益：26/26億円) (走行費用減少便益：-1/-1億円) (交通事故減少便益：1/1億円)
基準年：平成17年			
感度分析の結果			
事業の効果等 幅員未改良、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保及び緊急輸送道路としての機能強化を目的とする。			
関係する地方公共団体等の意見 岡崎・額田市町村合併協議会の中でも市町間の連絡強化の機能をより一層担う路線となるため、早期整備が期待されている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成14年9月に緊急輸送道路の指定を受け、また、岡崎・額田市町村合併協議会の中でも市町間の連絡強化の機能をより一層担う路線となるため、早期整備が期待されている。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 H17年度に0.1 kmを供用し、H19年度末に残る1.7 kmを供用予定である。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成19年度内の全線工事完了に向け、計画的に事業を進める。			
施設の構造や工法の変更等 新工法による大規模なコスト縮減はないが、路床安定処理の採用、再生砕石・再生As等の使用によりコスト縮減を図っている。			
対応方針：事業継続			
対応方針決定の理由 事業の必要性、事業の進捗の見込み、及びコスト縮減方策から事業継続が妥当である。			
事業概要図			
			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。